

## 日本天文学会 2003 年春季年会のお知らせ

2003 年春季年会は、2003 年 3 月 24 日(月)から 26 日(水)までの 3 日間、東北大学川内北キャンパス(宮城県仙台市)にて開催されます。プログラムや交通案内等は、月報の 96 巻 3 月号(2003 年 2 月 20 日発行)に掲載予定です。

### (0) 講演登録料

非会員の方の講演登録料が下の表のように改定されました。

料金表	会員	非会員	
基本登録料	3,000 円 (1 講演分の登録料を含む)	5,000 円	
講演登録料	0 円	5,000 円	
追加講演登録料	3,000 円	5,000 円	(追加 1 講演につき)
年会予稿集	2,000 円	2,000 円	

### (1) 受付期間および連絡先

事項		受付期間・期限	送付先・連絡先等 [下記参照]	関連項目
講演申し込み	郵送	2003 年 1 月 4 日(土) 必着	天文学会年会係	(2)(3) (4)(5)
	電子メール	2002 年 12 月 16 日(月)正午から 2003 年 1 月 6 日(月)正午まで	送り先は WWW でアナウンスする	
液晶プロジェクター、ビデオの使用		講演申し込み期間中(原則)	年会開催地理事	(6)
ポストデッドライン・ペーパー		2003 年 3 月 20 日(木)まで	年会実行委員長	(7)
最新情報コーナー		年会会期中まで	年会実行委員長	(8)
旅費一部補助		講演申し込みと同時	予稿原稿の該当欄にチェックする	(9)
保育室の利用申し込み		2003 年 2 月 24 日(月)まで	年会実行委員(保育室担当)	(10)
講演のキャンセル等		分かった時点ですぐに	年会実行委員長	(11)
各種の会合		2003 年 2 月 24 日(月)まで	年会開催地理事	(12)
特別セッションの企画 (天文教育フォーラムも含む) 招待講演・特別講演の講演者の推薦		2003 年 1 月 6 日(月)まで	年会実行委員長	(13)
ジュニアセッション	講演申し込み(郵送)	2002 年 12 月 31 日(火)まで	天文学会年会係	(14)
	予稿原稿(郵送)	2003 年 2 月中旬まで	天文学会年会係	(14)

### 連絡先

◆日本天文学会年会係 長谷川直子

〒181-8588 東京都三鷹市大沢 2-21-1 国立天文台内 日本天文学会年会係  
e-mail: jimu@nenkai.asj.or.jp 電話: 0422-31-5488 FAX: 0422-31-5487

◆年会開催地理事 谷口 義明(東北大学 〒980-8578 宮城県仙台市青葉区荒巻字青葉)

e-mail: tani@astr.tohoku.ac.jp 電話: 022-217-6508 FAX: 022-217-6513

◆年会実行委員長(年会理事) 土居 守(東京大学)

e-mail: doi@ioa.s.u-tokyo.ac.jp 電話: 0422-34-5084 FAX: 0422-34-5041

◎年会開催期間(2003 年 3 月 24 日~26 日)の現地連絡先は、プログラムおよび予稿集に掲載します。

(2) 分野と「企画セッション」

・講演分野は、以下の11分野です。

K. 天体力学, L. 太陽系, M. 太陽, N. 恒星, P. 星・惑星形成, Q. 星間現象, R. 銀河,  
S. 活動銀河核, T. 銀河団, U. 宇宙論, V. 地上観測機器, W. 飛翔体観測機器,  
X. 情報処理, Y. 天文教育・その他

・「企画セッション」は下記の1つです。

A. 光赤外の将来計画とサイエンス (コンピーナー: 児玉忠恭, 高見英樹, 富田晃彦)

・今回もコンピーナー制の企画セッションを試行いたします。セッションは講演申込前にコンピーナーから依頼される基調講演と通常の口頭/ポスター講演, 議論の時間などから構成され, その割り振りはコンピーナーが決めます。講演希望者は, 他のセッションと同様の講演申し込みをしてください。この場合, 口頭講演を希望されてもコンピーナーによってポスターのみの講演に変更される場合があります。

(3) キーワード

・分野のあとにプログラム編成のため, キーワードをご記入ください。

・特に, 以下の分野については「推奨キーワード」の中からも該当するものを選んで, キーワードの先頭に入れてください。

◎推奨キーワード

太陽 : 太陽内部, 光球・彩層, 活動領域, プロミネンス, フレア, コロナ,  
CME・太陽風

恒星 : 超新星, コンパクト星, 巨星

銀河 : 銀河形成, 銀河進化・星形成史, 近傍銀河, 銀河系

地上観測機器: 電波, 赤外, 可視, 重力波, 高エネルギー $\gamma$ 線, 宇宙線

(4) 講演の形式

・(a)口頭講演 (9分間の口頭発表と3分間の質疑応答), 1人1講演のみ;(b)ポスター講演・口頭発表付き (ポスターと3分間の口頭発表);(c)ポスター講演・口頭発表無し (ポスターのみ)の3種類を予定しています。講演時間は講演数によって変更することがあります。

(5) 講演の申し込み方法

◆郵送による申し込みの場合

・規定の申込用紙に記入し, 封筒の表に「講演申込書在中」と朱書の上, 日本天文学会年会係までお送りください。

・申し込み用の原稿用紙が不足する場合は, 必要枚数を天文学会年会係まで請求してください。

◆電子メールによる申し込みの場合

・申し込み開始2週間ほど前までに, [www \(http://www.asj.or.jp/nenkai/\)](http://www.asj.or.jp/nenkai/) に掲載します。

・非会員の方も, 電子メールでの申し込みができます。

※極端に短い予稿など不適切な講演申し込みは受け付けません。

(6) 講演で使える機器およびポスターボード

・口頭での発表は, オーバーヘッドプロジェクター (OHP) を使用してください。

・ビデオ装置や液晶プロジェクターは, (a)口頭講演 (9分発表) のみ使用できます。使用を希望される方は, 年会開催地理事までご連絡ください。

・ポスターボードの大きさは, プログラムに掲載します。(通常は, 縦180cm, 横90cmです。)

(7) **ポストデッドライン・ペーパー (PDL)**

- ・年会の申し込み期間締切後に受け付けます。
- ・PDLの講演方法は原則、ポスター発表のみですが、3分間の口頭発表を希望される方は申し出てください。プログラムに余裕があれば、口頭発表していただける場合もあります。
- ・PDLの予稿原稿は、発表が受理された後に年会実行委員長の指示に従って送付してください。

(8) **最新情報コーナー**

- ・最新の情報を掲示するコーナーを設けます。こちらは、ポストデッドライン・ペーパーよりは緩い基準で受け付けます。また、年会での講演とはなりません。予稿集等には掲載されません。
- ・発表の形式はポスターのみです。スペースが無くなれば、受け付けを終了します。

(9) **学生等の旅費一部補助**

- ・年会出席旅費補助は、講演者であり、天文学会の正会員のうち学生に対する割引会費を適用されていて、なおかつ正式な給与を受けていない人に限り受けられます。
- ・補助を希望する場合は、予稿原稿の旅費補助の欄にチェックをしてください。
- ・補助金は年会会場受付にてお渡しします。印鑑をご持参ください。年会後にはお渡ししません。

(10) **天文学会会期中の保育室**

- ・保育室を設置する予定です。詳細につきましては、天文学会のWWWに掲示します (<http://www.asj.or.jp/nenkai/>)。あるいは、加藤万里子 年会実行委員 (保育室担当) まで、電子メール (mariko@sunrise.hc.keio.ac.jp) か FAX (045-566-1102) でお問い合わせください。

(11) **講演のキャンセルや変更**

- ・講演をキャンセルや変更する場合は、速やかに年会実行委員長まで連絡してください。
- ※講演のキャンセルはお金と時間を無駄にするので、極力避けていただくようお願いします。

(12) **年会時の各種会合**

- ・会合などのために会議室や講演会場などを使用されたい場合には、年会開催地理事までご連絡ください。会合が開けるのは、セッション等が行われていない時間帯です。
- ・申し込みが多数の場合は、ご要望に沿えない場合もありますので、予めご了承ください。

(13) **特別セッション・特別講演・招待講演**

- ・多くの会員が関心を持つような話題について、「特別セッション」を開くことができます。原則的には同時に他のセッション等を行いません。また、会員の多くが興味を持つようなテーマについて、講師を依頼する「招待講演」や「特別講演」も時間が確保できれば行います。これらについては、年会実行委員長までご相談ください。

(14) **ジュニアセッション**

- 2003年春季年会では、第5回ジュニアセッションを開催いたします。詳細は、p.615をご覧ください。

土居 守 (年会実行委員長)